

石川 光夫 (福島)

渡部 憲司 (若松)

第3部 彫刻 神野 忠和 (二本松)

第4部 工芸 角田 弘司 (若松)

(市長賞, 市教委賞, 奨励賞, 佳作は略)

B 第12回県文学賞

本年度文学賞は、総応募数 141編と多数の作品が集ったが、若い新進の作家が圧倒的に多いが、その中に長い年月研鑽を続けている人々もみられ、量質共に向上していることがわかる。

青少年の文学活動を助長するために、文学賞に附随して募集している青少年文学奨励賞は、また趣旨が徹底しないために応募数が少ない。

区 分	小説	詩	短歌	俳句	数計
文学賞	37	18	27	34	116
青少年文学奨励賞	10	7	4	4	25
計	47	25	31	38	141

◎本年度文学賞授賞者については、教育行政・表彰らんを参照のこと。

◎県文学集第7集は3月に発行されて県内外の関係者に配布した、(90ページ 500部)

C 第13回県合唱コンクール

県合唱連盟を主体として開催地会津若松市教育委員会と共催で実施。

(1) 期日 10月10日 高校の部

11日 一般の部

(2) 出場団体 高校 男声 5 }
 女声 17 } 36
 混声 14 }

青年団 2

職場 2

一般 9

(3) 会場 会津若松市立謹教小学校

(4) 審査員 清水 脩

磯部 俣

(5) 入賞

部 門	最 優 秀	優 秀
高 校	会津農林高校	福高、桜聖母、福女若女、湯本高
青年団	坂下混声	原町青年会
職 場	常磐炭鉱内郷青連スパロー混声	国鉄郡山工場
一 般	FMC混声	会津混声

(6) 審査評 全般に各パートのバランスも整い、美しい

ハーモニーになっていた。各チームの指揮者が熱心に勉強しているのが感じられた。

D 第12回全日本合唱コンクール東北地区大会

東北合唱連盟主催で、福島県が当番を引受け、福島市教育委員と共催で実施

(1) 期日 11月7日 高校の部

8日 一般の部

(2) 出場団体 高校 男声 5 }
 女声 21 } 42
 混声 16 }

職場 2

大学 5

一般 10

(3) 会場 福島市公会堂

(4) 審査員 津川主一, 前田幸一郎, 藤井典明,

荻谷 納, 建部有典

(5) 入賞 ㊦

部門	第 1 位	第 2 位	第 3 位
高校	総合 会津農林 女声 宮城一女 男声 宮城一女 なし 混声 会津農林	宮城一女 桜聖母 山形東 仙台一 盛岡一	盛岡一 宮 福島高 大曲高
職場	なし	国鉄郡山	常磐炭鉱 スパロー
大学	東北学院 大学グリー ークラブ	宮城学院 大学グリー ークラブ	東北大学 グリーク ラブ
一般	FMC	仙台コー ルオルフ ェウス	弘前メン ネルコー ル

(6) 審査評 全般に技倆が接近していた。男声は女声に比して練習不足、東北地方のレベルは飛躍的に高まり、全国的水準に達したと思う。

◎全日本合唱コンクール(札幌・11, 23) 東北代表として出場した会津農林は第2位、FMCは第3位、郡山国鉄は第2位に入賞、昨年につづいて合唱福島の名を高めたことは注目してよい。

E 第13回演劇コンクール

本県の演劇活動は全国的にすぐれた水準に達し、青少年、一般の間に高まりつつあるが、青年団は費用の関係から参加困難であるのは残念である。

(1) 主催 福島県教育委員会 福島県演劇協議会
白河市教育委員会

(2) 期日 12月5日 高校の部

6日 一般・職場の部

(3) 会場 白河高等学校体育館

(4) 参加団体 高校(6地区代表) 7

一般 6

職場 1

青年 1